

平成29年度 事務事業評価表【改革版】の見方

○戦略
戦略該当事業のみ表示、それ以外は空欄。

○区分1
29年度新規に実施する事業は「**新規**」、それ以外は「**継続**」と表示。

○区分2
国・道等の補助事業は「**補助**」、江別市の単独財源での実施事業は「**単独**」と表示。

○補助金
団体等に補助金を支出している事業のみ表示、それ以外は空欄。

○対象
この事業の対象となる人・物など。

○意図
この事業によって、対象がどのようになるのか。

○対象指標
○活動指標
○成果指標
対象・手段・意図を測る具体的な指標名。

○手段
この事業の具体的手段・手法など。

平成29年度 事務事業評価表【改革版】 【 554】
事業名：行政評価・外部評価推進事業 政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	09 計画推進	戦略	
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進	プロジェクト	
開始年度	平成16年度	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

事務事業の目的と成果
 対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 ・市職員
 ・市民

手段（事務事業の内容、やり方）
 ・評価調査の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。
 ・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。
 ・行政評価を行う職員の技能向上を目的として、庁内説明会や研修会を開催する。
 ・学識者・有識者、市民公募委員などから構成される行政評価外部評価委員会を開催し、市が自らが行った行政評価（内部評価）に対して、外部評価を行うとともに、その結果を公表する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 ・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られ、外部評価の実施により、職員が行う内部評価の信頼性や客観性が確保され、画の一層の推進につながる。

		区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市職員数		人	1,151	1,158	1,156	1,158
対象指標2	市民数		人	120,335	119,587	119,587	119,250
活動指標1	行政評価説明会等開催回数		回	1	3	2	2
活動指標2	外部評価委員会開催回数		回	5	6	8	10
成果指標1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合		%	47.3	54.2	100	100
成果指標2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合		%	89.5	90.4	100	100
事業費 (A)			千円	2,446	2,817	3,076	3,342
正職員人件費 (B)			千円	5,497	10,481	9,181	9,244
総事業費 (A+B)			千円	7,943	13,298	12,257	12,586

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・市民アンケートの実施 ・庁内研修会の開催 ・行政評価外部評価委員会の開催	・市民アンケート実施経費 2,740千円 ・庁内研修会開催経費 16千円 ・行政評価外部評価委員会開催経費 586千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	向上		○	
	維持			
	低下			
	改革方向性（成果）			

○29年度への事業改善方向性
29年度に向けての事務事業の方向性を表示。

○改革案（2月時点）
29年度に向けてどのように改革を行うのかを記載。

○改革方向性（コストと成果）
29年度に向けての事業のコストと成果の方向性を表示。

